

平成30年度 市民活動補助金交付事業公開成果報告会

まとめ



《報告会の概要》

- 1 日 時 平成31年3月2日（土） 午前9時30分から正午まで
- 2 会 場 安城市民交流センター2階 多目的ホール
- 3 参加者数 37名
- 4 内 容
 - （1）平成30年度に市民活動補助金を活用し、様々な地域課題の解決に取り組んだ6団体が、事業の成果報告を行いました。
 - （2）市民協働サポータークラブ^{※1}の協力をいただき、（1）の各団体の発表内容を参加者の皆さんが市民目線で評価する「ワークショップ」を行いました。

※1 市民協働課で実施した人材養成講座「まちづくり人^{ひと}養成講座」を修了した「市民協働サポーター」を中心として組織した市民活動団体で、協働をコーディネートする中間支援団体

◆第1部 事業を実施した6団体へのコメント ～当日の参加者コメントから一部抜粋～

① イワカガミ ～発達障害児と共に森を歩く～



「サルビー」

- ・五感を刺激し本来持っている力をどんどん引き出してあげてください。
- ・「障害は差別ではなく個性」という意見が素晴らしいと思います。
- ・発達障害児に対する取り組みは本当に素晴らしい。今後も続けてほしいです。
- ・健常児も連れて合同でやれるとよいのでは？

② ハッピーハッピーエンジェル ～わくわくドキドキファッションショー～

- ・シニアの方々が生き生きとし若返るイベントを開催されていて素晴らしいと思いました。
- ・ファッションだけでなく、楽しめる事（落語・体操）をもっと増やして継続してほしい。
- ・会員だけが楽しむのではなく、広くPRし一般市民も参加できるようにしては？
- ・シニアだけでなく「孫」も一緒にやるともっと楽しくなりますよ。



③ みこと&ダブルカホンズ ～音楽による子供の健全育成活動～



- ・いろいろな分野の音楽とのコラボの可能性を探ってください。
- ・子どもの出番を増やし、居場所づくりにもつながり、人生を楽しくかんじられるような子どものメンタル面にも良い効果が期待される。
- ・子どもたちの音楽の発表の場を作られたことは大変よいことだと思いました。

④ ウィメンズネット安城 ～女性のキャリアアップ支援事業～

- ・受講したことにより自分自身との対話ができ、何をしたいか、方向ができていく女性たちが生まれてよかった。
- ・「働きたいけどどうしていいのかわからない」という悩みを持つ人は、多くいると思います。仕事と家庭との両立を考えた働き方のノウハウを学べる場所があるのはありがたい。



⑤ さんかく21・安城 ～絵本の中の男女共同さんかく(参画)～

- ・絵本といういと乳幼児への読み聞かせのイメージが強いが、幅広い年齢層に改めて絵本の世界をお知らせできたのはよかった。
- ・親しみやすい絵本から若いお母さんに男女共同参画を考えてもらえるきっかけづくりとなった。



⑥ 特定非営利活動法人5-CHA～キッズ・エクササイズ講座 および プログラミング講座～

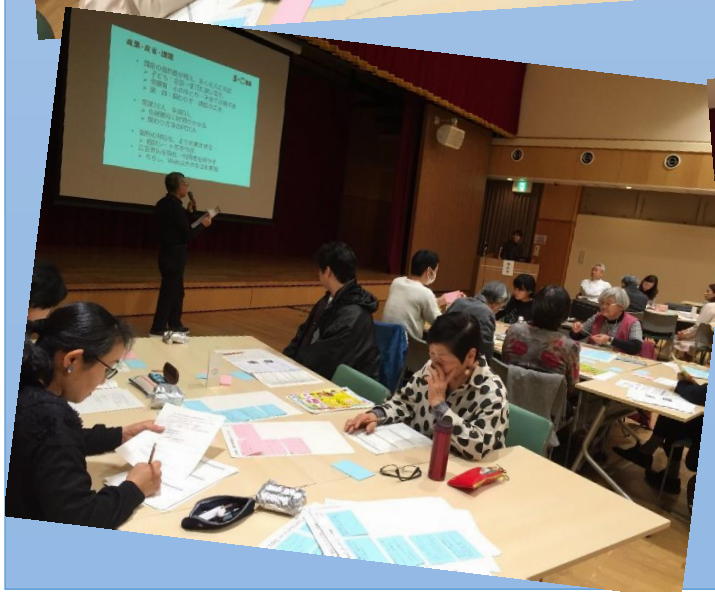
- ・発達障害を持つ親にとって、家庭・学校以外の場で子どもが身体を動かしたり、頭を使ったりして成長できる場があっていいと思います。
- ・発達に課題を抱える子どもたちの心身の向上だけでなく、地域のスクール講師も様々な子どもたちへ関わり方を学ぶ目的があるのは良いと思う。



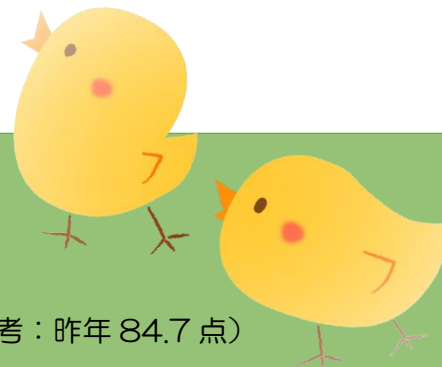
◆ ワークショップ ～市民活動補助金の成果発表を聞いて市民目線で評価～

各団体の発表内容について、各グループで「評価できる点」、「改善点」をそれぞれ話し合いました。

【ワークショップの様子】



参加者アンケート（まとめ）



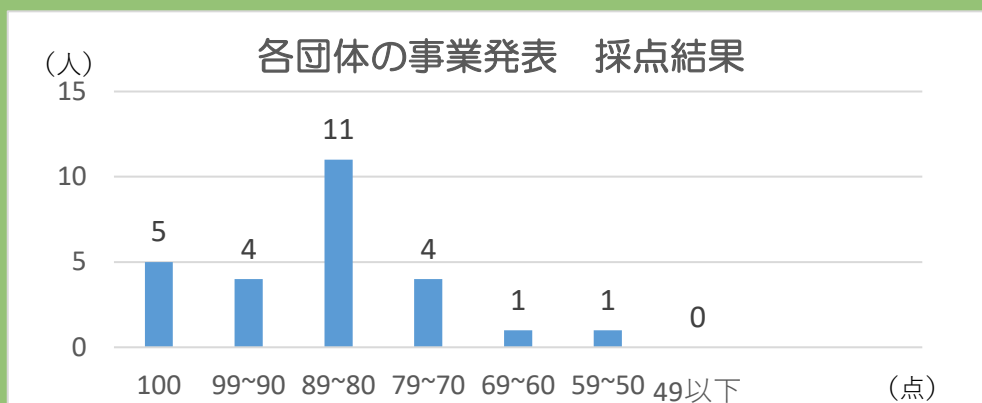
第1部 市民活動補助金交付団体の成果報告について

Q. 100点満点で採点すると何点でしたか？

A. 83.70点（アンケートに記載があった26名の平均点）（参考：昨年84.7点）

《主なコメント》

- ・成果重視、次への課題・補助金の使途が明確になるとよい。
- ・プレゼンテーションもやることで成長すると思う。
- ・各団体で違うが、短い時間に全部盛り込んで話すのは難しい。



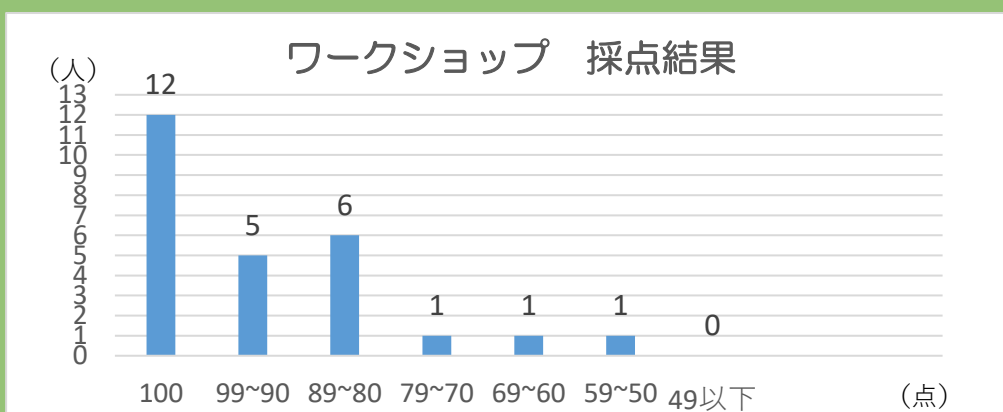
ワークショップについて

Q. 100点満点で採点すると何点でしたか？

A. 90.2点（アンケートに記載があった22名の平均点）（参考：昨年77.4点）

《主なコメント》

- ・「誰も意見を否定してはダメ」「1人1分以内」というルールを設けたのはよかった。
- ・意見交換の時間がもう少しだけ欲しかった。追われました。
- ・皆さんが、自分の考えを言ってくださったと思う。自分の意見もしっかり言えた。



～コーディネーター 小森さんから～

- ・アンケートをぜひ取っていただき、事業の成果を数値化して確認してほしい。チェックをすることで、事業の改善点が見えてきます。
- ・アンケート結果を活用してPDCAを回し、よりよい事業となるよう改善して下さい。